

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス one step		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 31日		～ 令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 31日		～ 令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所との連携における就業体験。 ・就労継続支援B型事業所、生活介護事業所など協力機関における就業体験。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意思を汲み取った体験先の選定。 ・関係機関や体験先との密な連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験可能な企業や事業所を増やし、職種の選択範囲を広げるとともに、保護者による見学においても充実を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験を通して、将来の可能性を広げる。 ・日常生活以外での社会性の獲得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種の体験を通し、新しい発見へと繋げている。 ・体験内容を共有することで、参加していない企業や事業所における社会性を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験の結果や学校での実習状況を踏まえ、進路支援の充実を目指す。 ・体験内容を細分化し、プログラムで提供していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることを増やし、可能な範囲での自立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフにより学校～one step、one step～自宅など自信が付くまで付き添いを実施。 ・個別支援計画や就業体験経過表から可能性のあるところや、今後必要になってくるスキルを検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自力通所への促しや、公共交通機関を利用するイベントを増やし、乗車する機会を多くする。 ・個別支援計画や就業体験経過表をもとに、自立へ繋がる支援を提供する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・障害程度に左右されないプログラムの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路や目指す場所がそれぞれ違うため、就業体験プログラムでは統一した内容の提供が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験プログラムでは内容を細分化し、全体で参加できる部分を作っていく。 ・その他のプログラムでは集団行動を意識した内容を積極的に取り込んでいく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者における周知や対応の物足りなさ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務や送迎に追われ、余裕をもって対応することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム変更に伴い業務の効率化、スタッフのスケジュール整理などを行い余裕のある対応を目指す。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの曜日固定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日に楽しいイベントが集中してしまい、全体の児童に参加してもらうことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇において、イベントが充実出来るよう検討していく。また、土曜日に関しても事前の連絡を徹底し多くの利用児童が参加できるように改善していく。